



食事制限者への支援



関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



湖西市から届いた支援物資

岩手県で地元アレルギーの会と連携し行動開始！ 食物アレルギー支援を本格化

6班に分かれて避難所に物資配送、ポスターで啓発

○ 盛岡でアレルギー患者会と支援活動開始！！ ○



早朝の盛岡市「ふれあいランド盛岡」の駐車場に、盛岡市のアレルギーっ子サークル「ミルク」会員10名、アレルギー支援ネットワーク栗木理事、埼玉からのボランティアドライバー川村大輔さん、そして、エコ・ライス新潟から豊永親子が集合しました。

湖西市からの提供品「アレルギー対応アルファーマ」等の支援物資の配布と「アレルギーの患者さんへのお知らせ」を避難所で掲示する一斉行動を行いました。車8台に分かれて岩手県内の各地の避難所へ！

アレルギーの家族が冷え込む早朝に集合！

栗木さん・川村さん、豊永親子は盛岡から陸前高田市へ移動。岩手県の広さに驚きながら燃料不足が気になります。新潟県の長岡市でも燃料制限があり、思うように確保できませんでした。

陸前高田市までは東北自動車道、釜石自動車道を走り抜けられました。中越大震災では道が寸断されていたのとは大きく違います。津波被害地に入ると想像を絶する破壊。一面の瓦礫に息子と声を失ってしまいました。

陸前高田市では避難所、病院2ヶ所にポスターを掲示。支援物資も被災者に直接お渡しました。又、一般食のカップ麺も支援物資として渡しましたが、大感激をされました。パンばかりで「汁物が食べたかった・・・」。被災者の必要な物、情報を届けサポートします。



避難所の診療室前の掲示板にポスターを貼らせてもらう。



一面がガレキの海。どこが陸でどこが海か判別がつかない。



湖西市のアルファーマ、水、マスク、子どもせんべい、生理用品、下着、一般食のカップ麺、スープなど。



トラックからミルクのメンバーの自動車に積み替え。地元事情に明るい方が避難所を回るのは非常に効率的。



悩みの種は「燃料」。行動が制限される。長岡でなんとか入手したガソリン、軽油をミルクのメンバーに提供。



被災地で捜索活動を見つめる被災者。街全体が津波に飲み込まれた。泥の匂いが充満している。



仙台、石巻で各団体と連携体制を模索する
 特別食を理解して支援をしないと無駄になる
 名古屋市のアレルギー食が一般支援品に紛れ行方不明に

○ 宮城県腎臓病患者連絡協議会の事務局を訪ねました ○

透析が不足なのか顔が浮腫んでいる。透析患者が透析患者をサポートするのは大変難しい。



高橋事務局長(中)、邊見事務局長次長(右)

多賀城市の愛腎協事務局を尋ねました。高橋事務局長、邊見事務次長とお会いしました。多賀城市では腎クリニックが水没して仙台にピストン輸送で透析を受ける。しかし、燃料が不足して輸送に困ること。事務局のスタッフが移送のボランティアをしているが、同じ透析患者であるので体にかかなりの負担がかかっているとのこと。気仙沼の透析患者は北海道に移送されて透析治療を受けていることなど、透析患者の厳しい現実を伺いました。

今後は県北、南に物資を運ばないとのことなので、地元ボランティア、関西から入る学生ボランティア、各地の災害ボランティアと連携して輸送できる体制づくりを模索します。

○ 消防大学校で「アレルギー対応アルファ米」7000食を探す ○

名古屋市がアレルギー対応として備蓄していたアルファ米7700食が仙台に送られました。しかし、一般食で送られたのでどこかに紛れてしまいました。急遽備蓄基地の宮城消防大学校に捜しに行きましたが、すでにアルファ米は全部避難所に送られていました。どこの避難所に送られたかさえも全くわかりません。

山のように送られてくる災害支援品を現場で区別することは大変難しいと思います。透析・アレルギー用の支援品は必要性を理解した者が直接届けなければ届きません。

今後の食事制限者災害支援の教訓となる出来事でした。



広い体育館に支援物資が山積、細かい仕分けは無理。支援物資の送り方、送り先が重要になります。



陸前高田市の高田病院は被災し、公民館が「高田病院仮診療所」に。保健師と相談し掲示板にもポスターを貼り診療に来る方々に広くアレルギー支援があることを周知します。



豊永(左)の大学時代の友人桑原英文さん。災害ボランティア活動支援会議の幹事でボランティアコーディネーター。3年前の中越沖地震の避難所で偶然に会って以来の再会。



川村大輔さん(右2人目)は、埼玉からの参加。栗木さんはボランティアドライバー-2名に依頼して途中乗り次いで、名古屋から盛岡に乗り込む。

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100



TEL 0258-66-0070 mobile 090-6458-5535

e-mail eco-net@nekonet.ne.jp